

令和4年度 第1回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会 会議録

1 開催日時

令和4年9月16日(金)

開会 午前10時00分

閉会 午前11時30分

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎2階 201会議室

3 出席委員

矢野昌彦、新田美得、佐藤庸子、松原ふき、谷口悦予、伊藤紀子、白坂弘子、梶田英也、米今賢二、篠田すみ子 計10名

4 欠席委員

小林寛司 計1名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

環境課課長：木戸雅浩、課長補佐：西尾元伸、主事：飯田あゆみ

7 議題等

- (1) 尾張旭市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の進捗状況について
- (2) 次期尾張旭市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定について

8 会議の要旨

(環境課長) 定刻になりましたので、ただ今から「令和4年度第1回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会」を開催させていただきます。

本日は、ご多忙のところ、会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。事前にイトーヨーカドー尾張旭店の小林委員から欠席の連絡を受けております。本日の出席人数は10名でございます。委員の半数以上の方にご出席いただいておりますので本審議会条例第7条第2項により、本審議会は成立しております。なお、本会議は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき傍聴を認めていること、また、本会議の内容につきましては情報公開の対象となることも、あわせてご了承くださいますようお願いいたします。また、本日、ごみ処理基本計画の策定をお願いしております東和テクノロジー様にご出席をお願いしております。一言ずつお願いします。

(東和) 株式会社東和テクノロジーの後藤と申します。来年の基本計画策定まで担当させていただきます。よろしくお願いいたします。東和テクノロジーの佐伯と申します。よろしくお願いいたします。

(環境課長) では、本日の会議資料の確認をいたします。

<資料の確認>

それでは、次第に沿って会議を進行させていただきます。

次第1「会長あいさつ」です。矢野会長、よろしくお願いいたします。

## 次第1. 会長挨拶

(矢野会長) おはようございます。私、名古屋産業大でSDGsを教えています。今回の廃棄物減量等推進審議会ではSDGsのゴール12「つくる責任、つかう責任」ということで、今日は、多様な委員の方々に来ていただいて、様々な審議をしていただければと思います。狙いは、廃棄物をいかに適正に減らしていくのかというところでございますので審議をお願いします。また、SDGsと関連させることが大事だと思いますのでよろしくお願いします。私からは以上でございます。よろしくお願いします。

(環境課長) ありがとうございます。ではこの後は矢野会長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いします。

## 次第2. 議題(1) 尾張旭市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進捗状況について

(矢野会長) では次第にしたがって進行させていただきます。次第2、議題の(1)「尾張旭市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況」について、事務局より説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(事務局) (資料に基づき説明)

(矢野会長) ありがとうございます。ただいま説明にありました、次期尾張旭市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について、ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

(米今委員) 最初の項目⑤「燃えるごみ中の資源ごみ混入率」が24%ですけれども、プラスチックとして出したらいいのか、燃えるごみで出したらいいのか迷うものも多いです。食品が入っていて汚れたようなものは、燃えるごみにみなさん入れているのではないのでしょうか。

(事務局) 汚れたもの、簡単に洗っても落ちないほど汚れがついたものについては燃えるごみで捨ててくださいとお願いしています。

(米今委員) それが混入率がなかなか下がらない理由で、プラごみの混入率というのは、下がらないような気がするのですが。

(事務局) 汚れてどうしようものないプラは、調査の際、混入率の対象物とせずに混入率を出しています。判断が難しく、「洗えそうだな」というものはプラスチック製容器包装の対象とし、混入率に入れています。

(矢野会長) 基本は洗ってもらうということが大事ですね。

(米今委員) 特に最近はお弁当などのテイクアウトが増えており、本当はきれいに洗って、ちゃんと分別して出すのが理想ですが、大量に洗剤や水を使って、分別するのが正しいか、エコなのかというと、正解が難しいところもあります。

(白坂委員) 過剰包装はもう少し、少なくできないですかと事業者にお願いしたのですが、なかなか変更はできないらしいです。

(篠田委員) プラスチック製品のプラごみ分別というのは、それでごみ排出量がすごく違うと思います。

(新田委員) 大型の衣装ケースなどの、製品プラスチックは自分で小さく破壊して、

可燃ごみと混合して出しています。

(篠田委員) 制度上この部分をプラ(資源)として出せるようになるといいと思います。

(新田委員) プラスチックの回収は、これからの課題のようですが、これから進んでいくと思います。

(矢野会長) その他、前向きな意見はありませんか。

(篠田委員) 私が所属しているのが、循環型のクラブなので、「使い切り」に特化した料理教室をやってくださいと市から依頼されてやっています。使い切って、食べ切って、水も切って、捨てる場所がないような料理教室でとても人気があります。今年もやりましたが、男の方も子どもと一緒に2組ぐらいみえて、すごくよかったです。

(矢野会長) 取組を連鎖させていけるといいですね。

(篠田委員) そう思います。こまめにそういうことをやっていかないといけないと思います。

(矢野会長) こういった体験とか教育というのが一番いい取組だと思います。その他にかご意見はありませんか。

(米今委員) 私は生ごみをたい肥にする活動をしているのですが、以前は広報で募集をして講習会を行っていました。現物を見せて、たい肥化について周知していたのですが、今は、コロナ禍で中断されています。ですから、普及が頭打ちになって悩んでいます。コロナがそのまま落ち着けば、再開できるのではないかなど、市にも相談しています。ただ、続ける人はちゃんと続けていただいています。なんとかPRできる機会を増やしていただきたいというお願いです。

(矢野会長) ありがとうございます。その他ご意見はございませんでしょうか。目標値に向かったの進捗状況をみると創意工夫が必要ということで総括します。では次に進みます。議題の(2)「次期尾張旭市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定」について、事務局より説明をお願いします。

## 次第2. 議題(2) 次期尾張旭市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定について

(事務局) 環境課の西尾と申します。よろしく申し上げます。

(資料に基づき説明)

続いて東和テクノロジーさんからお願いします。

(東和テクノロジー)

(資料に基づき説明)

(矢野会長) 資料3、4について、ご意見、ご質問ありませんか。食品ロスの調査とプラスチックの調査についても、ご意見ご質問等ありませんか。

(榊田委員) 一般ごみに関する市民アンケートをするということでしたが、私、古紙を使って再生紙を作るメーカーで働いております。資源ごみとして出している古紙を溶かして紙を作るのですが、その際にプラスチックごみがだいたい1年間で250トンから300トン出てきます。本来であ

れば、一般廃棄物として出るはずのごみが、我々のところに古紙として入ってきて処分しているのです。現実的に一般廃棄物は、目に見えないところでこうしてたくさん出ているという現状があります。実際、われわれもそれを処理するために、処理費用をかけているわけです。今年4月からプラスチック新法が始まって、プラスチック大量排出事業所を含め、毎年250トン以上を排出する業者は、削減のアイデアを出しなさい、計画を組んで実行しなさいという命題ももらっています。本来はみなさん出してくださいるときに、紙だけにして、ダンボールなどの中に入っているプラスチックなどは除去してほしいのですが、実際にはなかなかむずかしいです。一般廃棄物の中では、表に出てきていない、そういう数量もあるということとは認識していただきたいです。

たとえば、ダンボールをガムテープではなく、プラスチックのテープで留めたりとか、新聞の中にダイレクトメールの封筒がはいっていたりとかして、本来古紙としては除去してほしいものが入ってきます。全部が尾張旭市から出ていると思わないですが、だいたい、12万トンぐらいの古紙を扱っていますが、そのうち1%ぐらいの、250～350トンぐらいがプラスチックごみです。

(篠田委員) シールとかもいけないですよ

(柘田委員) 取れないものはしょうがないですが。

(篠田委員) そこは切って出さないといけないですよ。

(柘田委員) そうしていただけるとありがたいです。

(米今委員) 私は、広報とかで、とにかく同じ言葉でもいいので、毎回毎回、雑紙を出すときには、プラスチックを取り除いてくださいというメッセージを出し続けるのが必要ではないかと思えます。ちょっとしたことでも、何回もいうことが大事だと思います。一年に一回ぐらいでは、記憶に残らない。繰り返し繰り返し、発信するというのが、原始的だけど、一番効果があると思えます。

(白坂委員) 以前は、雑紙を入れる袋を市で配っていましたよね。あれはもうなくなっているのですよね。雑紙をいれる紙袋を、新聞紙とかで作るのですが、中をコーティングした紙袋、ああいうのはダメなのですか。

(柘田委員) だめというか出てきます。

(矢野会長) もしかして、ヒントがあるとすると、東和テクノロジーさんが今回事業者ヒアリングをするものの中で、プラスチックに関する取組はどうなっているか聞くのは良いかもしれません。場合によっては、こういったことを踏まえて対策を聞いて、分別を考える必要があります。

(篠田委員) 国による特定されているプラスチックがあるのですか。

(東和テクノロジー)

あります。コンビニとかでもらいますスプーンとかストローとか、ホテルの歯ブラシとかそういうものが細かく指定されています。

(矢野会長) その他、ご質問ご意見はありますか。

- (米今委員) 小学生や中学生の、ごみに対する教育はどうなっているのでしょうか。
- (新田委員) 教育委員会からの取組もありますし、地域でも、具体的には旭丘校区では、ごみ回収の先進的な取組をしています。毎年3Rポスターを小学校の子どもたちに描いてもらっています。こういった取組を通して、子どもたちの意識を変える努力をしています。いわゆる資源ごみはコミュニティ活動の貴重な原資になっています、お金です。資源回収量は100トン単位減っています。簡単に言うと、新聞取らないからなど、資源が少なくなる中でどうしたらいいか、あと、資源ごみにするためには、雑紙をきっちり分別することが大事です。ごみに出せばただのごみで焼却されるだけです。それをきっちり分別する必要があります。子どもたちを、教育じゃないですけど、家庭で分別するような姿勢を作れるように、取り組んでいます。やっぱり、地域なり、学校なりが協力しながら、子どもたちの意識を変えていく必要があります。
- (矢野会長) 尾張旭市はかなり、小学校でSDGsネイティブというかたちで、先進的にごみの分別とか減量化に関して、教育の中でもやっていると思います。
- (新田委員) 3R、3Rとっていたのが4Rになり、リヒューズ、拒否するという考えが出てきています。要するに、過剰な包装はいらぬ、ごみになるからいらぬという考え方です。例えば、コンビニに行き、弁当に箸がつきますが、箸は家のを使う、ごみになるからいらぬという、そういう新しい考え。最近ちょっと感心させられています。
- (矢野会長) ありがとうございます。その他、ご意見等ございませんでしょうか。その他ないようでしたら、新情報を含めて、これを踏まえて、アンケート調査を実施していただいて、一般廃棄物処理基本計画を策定するというところで、進めていくということで、みなさん承認をいただけますでしょうか。では、みなさんにいただいたご意見を参考にして、基本計画策定を進めていくのでよろしくお祈いします。その他なにかありませんでしょうか。
- (事務局) 補足は特にありません。長時間にわたり、ありがとうございます。次回の開催予定ですが、2月14日(火)午前10時から11時30分を予定しています。会場と詳細は決まり次第連絡させていただきますのでよろしくお祈いします。事務局からは以上になります。
- (矢野会長) これで審議会は終了とします。